

目標達成計画

作成日: 令和2年 12月 5日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	○ 職員を育てる取り組み 昨年度は、一般的な離職率であったが、本年度は、昨年度の2倍の離職者数となる。入職して短期間で退職が多い。	離職率を10%以内にし、人材紹介会社に頼らない求人活動を行う。職員全員が働きやすいと感じる職場環境を作る。	入職時のオリエンテーションを充実させるために、詳しい入社時のマニュアルを作成する。また、指導職員を固定して、約1カ月間のマンツーマン指導を行う。	4ヶ月
2	18	○ 本人と共に過ごし支えあう関係 新型コロナ禍での外出、面会、レクリエーション等減少により、利用者が日常生活の楽しみを失っている。	明るい雰囲気作りを行い、利用者個々にやりがいを持てる楽しみや趣味を持ってもらう。楽しんでもらえるようなレクリエーションが実施できるように職員の対応を向上させる。	レクリエーションの種類を増やし、幅を持たせていく。レクリエーション委員会を発足させ、全体で楽しむことができるイベントを企画・実施する。	6ヶ月
3	35	○ 災害対策 利用者も含めた、大規模な避難訓練を行っていない。また、防災用品や非常食の準備もわずかである。	職員全員が災害意識を持ち、どのようなシフト下でも役割分担が出来るようにする。また、近隣住民の方との交流も深め、避難所となりえる施設として周知してもらう。	コロナ禍が終わり次第、大規模な避難訓練を実施する。それまでは、役割分担を職員全員に周知させる。水害・台風対策も必要であることから、インターネットから情報収集できるようにしておく。	8ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。